

緑豊かな金華山と岐阜城に一番近い天空の露天風呂

～和文化和洋文化の融合でお客様をおもてなし～



代表取締役社長

山岡利安氏

株式会社ホテルパーク

- 住所：岐阜市湊町 397-2
- TEL：058-265-5211
- FAX：058-262-6562
- URL：<http://www.hotelpark.jp>
- 事業内容：旅館業
- 従業員：130名
- 会社略歴：
 - 1894年 山岡良助・すみが名古屋の大須に旅館「明治館」を創業
 - 1905年 旅館「明治館」焼失廃業
 - 1916年 和洋料理「八層閣」を創業
 - 1917年 岐阜市長良川河畔に「旅館 港館」をオープン
 - 1921年 川端康成が岐阜に3度訪れて、港館が小説の舞台となる
 - 1932年 3代目山岡良男・友子が港館を継承
 - 1946年 アメリカ進駐軍の将校官舎使用のため、港館の全てを取り上げられてしまう
 - 1952年 榎みなど館として営業再開、新しいスタートをきる
 - 1963年 長良川初の鉄筋ホテルを増築し、みなど館からホテルパークみなど館に名称を改めた

【長良川初の鉄筋ホテル】

聞き手：創業117年とお聞きしましたが御社の会社のあゆみについてお聞かせください。

山岡社長：明治27年に、名古屋に「明治館」という旅館を創業したのが当社の始まりです。その後明治38年に明治館は焼失してしまい廃業となってしまいましたが、代わりに料理屋としての事業を始めました。旅館業としてはその後、岐阜に「港館」、名古屋に「山岡旅館」というかたちで復活させましたが、間もなく戦争となり名古屋から疎開するかたちで岐阜のみで事業を行うようになりました。そして昭和38年に「港館」に、長良川で初となる鉄筋ホテルを増築リニューアルし、名前を「港館」から「ホテルパーク」に改名し現在に至っています。

聞き手：料理をやられていた時に、金と銀の鍋が有名であったとお聞きしましたがどのようなものであったのでしょうか。

山岡社長：八層閣という和洋料理屋を行っていた時に牛鍋を金と銀の鍋を使って提供していたものです。味もさることながら見た目のインパクトもあり、行列のできるほど多くの方にお越しいただいていました。

聞き手：昔から鵜飼目当てのお客様は多かったのでしょうか。

山岡社長：戦前のこととなると詳細な資料は残っていませんが、当時から鵜飼を目当てに来られるお客様は多かったと聞いています。鵜飼の観光客は今では、10万人程度ですが、全盛期は30万もの人々が見に来たとされています。今では10万人をなんとかキープできていますが減少傾向にあります。鵜飼は見せ方が非常に難しいものです。人が多くなると船の数が増えて待ち時間が長くなってしまい、近くで見る時間も限られてしまうからです。そういう面では見やすくなってきており、昔より良い環境で鵜飼を鑑賞することができるようになってきていると思います。

聞き手：旅館組合でホテルが2つ、旅館が5つあるとお聞きしましたが、昔はもっと多かったのでしょうか。